

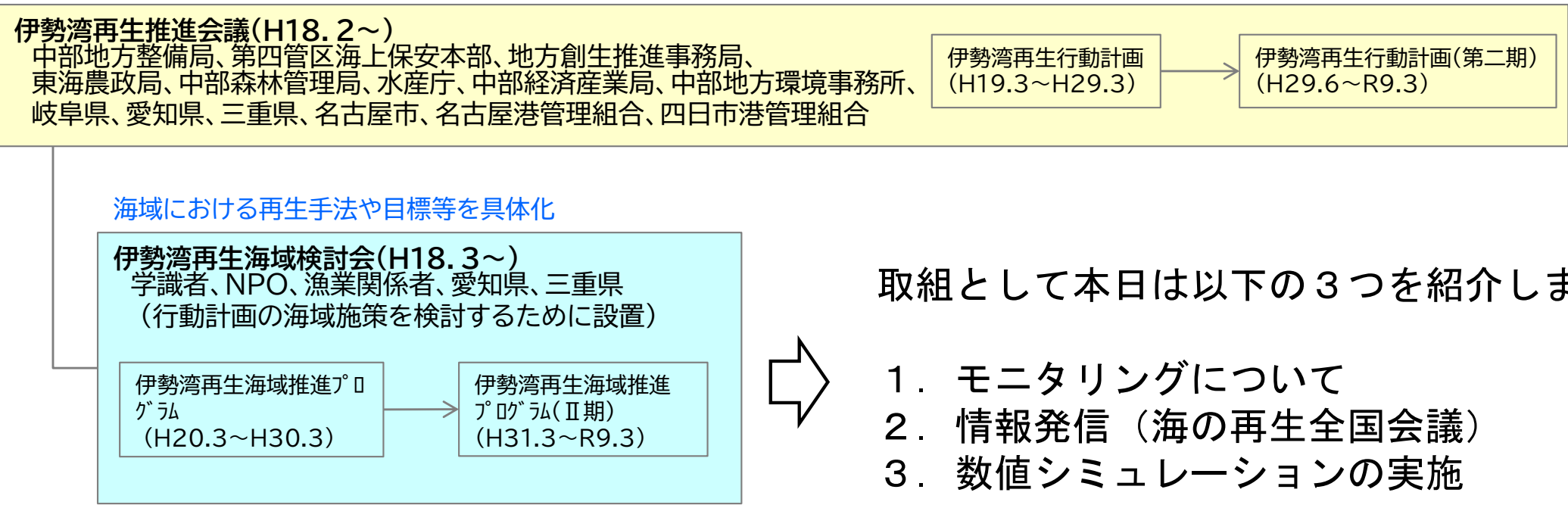
伊勢湾再生海域検討会の取り組み状況について

【伊勢湾再生海域検討会】

「伊勢湾再生推進会議」において採択された基本方針を受け、海域の観点から行動計画に反映させるべき目標や施策などを具体的に検討していくために設置された組織です。検討を推進するため伊勢湾再生海域推進プログラムを策定しています。

【伊勢湾再生推進会議】

総合的な伊勢湾再生への取組みと地域活性化の醸成を重点に置いた総合的な「伊勢湾とその流域の環境改善」のための行動計画（伊勢湾再生行動計画）を策定しています。この行動計画の推進を図るとともに、定期的なフォローアップを行っています。



取組として本日は以下の3つを紹介します。

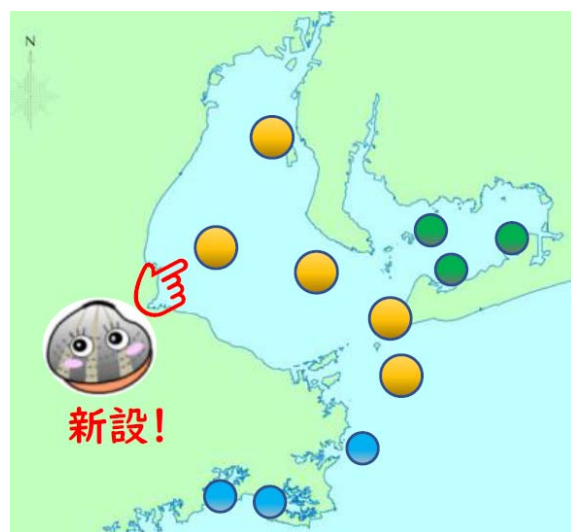
1. モニタリングについて
2. 情報発信（海の再生全国会議）
3. 数値シミュレーションの実施

検討体系図

モニタリングについて（伊勢湾環境データベース）

伊勢湾・三河湾のリアルタイムの水質や流況などの環境情報をスマホなどで容易に閲覧することができます。中部地方整備局港湾空港部では、伊勢湾の水質定点観測や海洋表層流観測を行い* 関係機関とも連携して、下記のような情報を提供しています。

*伊勢湾湾西部にモニタリングポストを新設しました（令和4年6月から観測開始）



水質定点観測位置



中部地方整備局港湾空港部
水温、塩分、DO、濁度、クロロ
フィル等をモニタリング



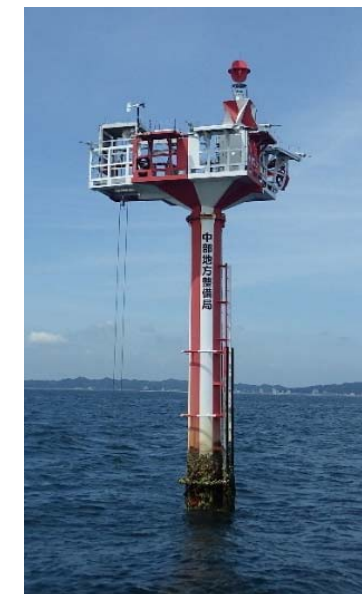
愛知県水産試験場（三河湾情報）
水温、塩分、DO、濁度、クロロ
フィル等をモニタリング



三重県真珠養殖連絡協議会
漁場水温をモニタリング

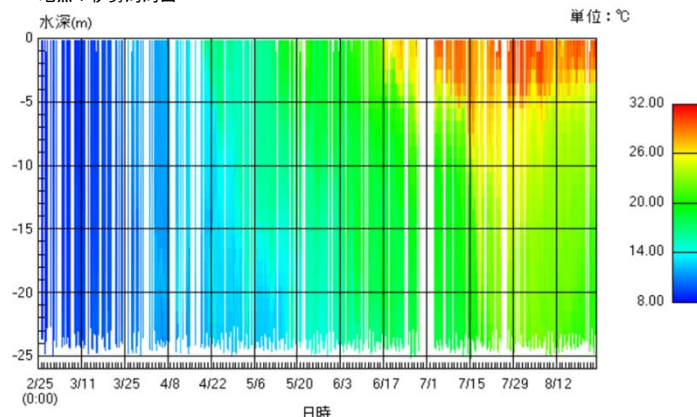


スマホ閲覧画面 モニタリングポスト



船（白龍）による定期観測

地点：伊勢湾湾西



定点観測情報（2月～8月の水温）

スマホ版は以下のQRコードからアクセスできます。

※伊勢湾環境データベース



水質情報

モニタリングについて（伊勢湾流域圏一斉モニタリング）

応募者の皆様と、流域圏の自治体などが海の水質が悪くなりやすい夏の時期に一斉にモニタリングを行うことで、伊勢湾流域圏全体の水環境の状態を知ることができます。



伊勢湾流域圏とは…
伊勢湾と伊勢湾に流れ込む河川の集水域となっている地域。
(上図の水色および緑色で示した部分)



水質調査キット



調査結果の様子



実施の様子

【感想やご意見（抜粋の要約）】

- ・暑かったけど、楽しかった。
- ・魚を捕まえることができたということもあり、有意義だった。
- ・外来種がいなかった。
- ・水質については、近くに行くと浅いところはしっかり底が見えたので、水質はあまり悪くないと言えるが、水質調査キットを使用すると、良いとも言えないという結果になった。

情報発信（海の再生全国会議）

- ・ 令和7年2月28日（金）、中電ホールにて「第19回 海の再生全国会議in伊勢湾～豊饒な宝の海を取り戻すために今できること～」を開催しました。
- ・ 本会議に先立ち、一般財団法人 みなと総合研究財団が主催する「第2回 全国海の再生・ブルーインフラ賞授賞式」も行われ、国土交通大臣賞として、愛知県西尾市立佐久島しおさい学校による「佐久島の海を守る～子どもたちが主体で行うアマモの保全活動～」が授賞しました。
- ・ 当日はオンライン含め約200名の参加がありました。

第19回海の再生全国会議 in 伊勢湾
伊勢湾再生に向けた取り組み
～ 豊饒な宝の海を取り戻すために今できること ～
& 第2回全国海の再生・ブルーインフラ賞 授賞式

日時：令和7年2月28日（金） 13：00～17：00（開場 12：30）
場所：中電ホール
名古屋市中区東新町1番地（「中電ホール」で検索！）
（地下鉄東山線「栄駅」から徒歩約5分、地下鉄桜通線「高橋駅」から徒歩約8分）

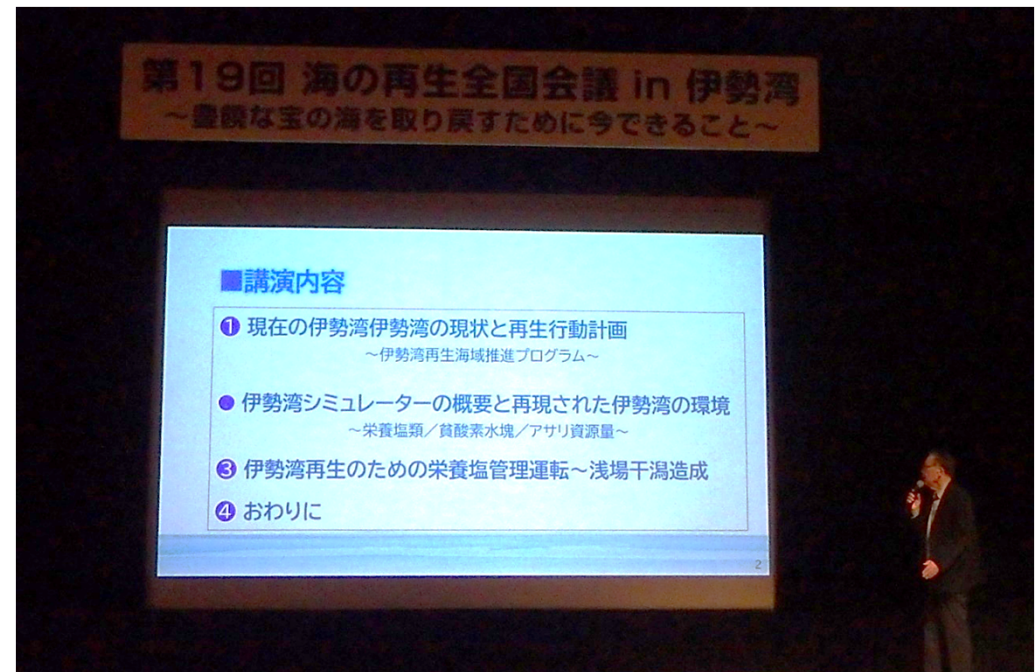
参加無料

＜第2回全国海の再生・ブルーインフラ賞 授賞式＞
主催：一般財団法人 みなと総合研究財団
後援：国土交通省
プログラム（13：00～）→ <https://www.wave.or.jp/doc/blueinfra.html>
＜第19回海の再生全国会議＞
主催：国土交通省 中部地方整備局 共催：伊勢湾再生推進会議、東京湾再生推進会議、大阪湾再生推進会議、広島湾再生推進会議
後援：伊勢湾再生推進会議、東京湾再生推進会議、大阪湾再生推進会議、広島湾再生推進会議
協力：特定非営利活動法人伊勢湾フォーラム

プログラム（14：00～17：00）

- ・ 基調講演「伊勢湾再生や今日の海洋環境に関わる最新の話題」
名城大学大学院 特任教授 中田 喜三郎 氏
- ・ 話題提供
「三重県における栄養塩類管理の取組」
三重県環境生活部環境共生課大気・水環境課 主任 水谷 悠方 氏
「伊勢、三河を支える将来世代の育成」
海都市教育委員会生涯学習課 副主任 杉浦 孝文 氏
「ブルーカーボンにつながる人と資源の循環」
鳥羽臨海工業地帯組合船務企画室 室長 小野里 伸 氏
「いのち豊かな伊勢湾再生に向けた森づくり」
中部圏航空港 執行役員 堀田 昌弘 氏
- ・ 各湾からの報告（東京湾、大阪湾、広島湾、伊勢湾）
- ・ パネルディスカッション 「豊かな伊勢湾の再生に向けて」
～ 多様な主体の連携と将来世代の育成はどのように進めればよいのか ～
コーディネーター 日本福祉大学 特任教授 千原 聡 氏

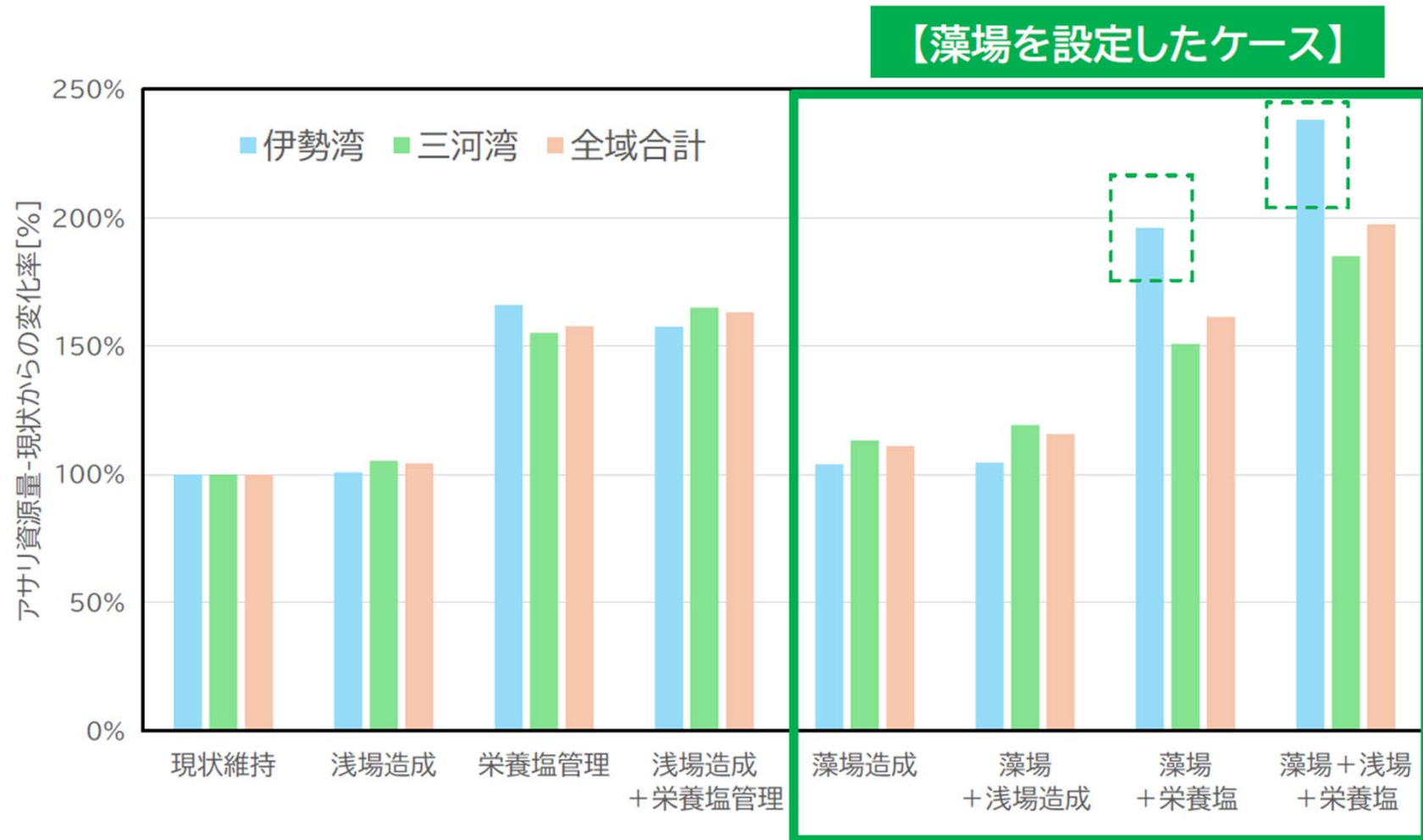
お申し込み方法 申込み区切：令和7年2月25日（火）
1. 専用フォームから申込み
下記のアドレスにアクセス、または右の2次元バーコードを読み取って
専用の申込フォームでお申し込みください
<https://forms.office.com/r/4b4x4k7BrndJ>（←リンクをクリック）
2. E-mailで申込み：以下の情報を umi-saisei19@wave.or.jp までにお送りください
①氏名、②所属、③E-mailアドレス、④参加方法（会場 or オンライン）、⑤CPD申込の要否
※会場参加申込みが完了した場合はオンライン参加となりますのであらかじめご了承ください
※オンライン参加の方は後日ウェブナーの招待メールをお送りします
問合せ先：一般財団法人みなと総合研究財団 担当：宮家・田村
E-mail：umi-saisei19@wave.or.jp
海の再生全国会議は
国土交通省中部地方
整備局です。



基調講演の様子

数値シミュレーションの実施

- ・ 浅場造成のみの生息場整備だけでは、アサリ資源量の増加効果は限定的で、栄養塩管理の実施により大きく資源回復が見込まれる様子が確認されました。
- ・ 藻場造成と栄養塩管理の併用により、アサリ資源量の増加の効果が確認されました。



各施策とアサリ資源量の変化